

## 2002年度 報告ダイジェスト

グリーンの文字はグループ全体・ブルーの文字は富士フィルム単独  
詳細は本文関連ページをご覧ください。

## 環境効率指標の策定 6つの環境負荷に対応する環境効率を2010年度に全て2倍に (対2000年度)

売上高をCO<sub>2</sub>排出量・廃棄物発生量など6つの環境負荷値で割った数値全てを、2010年度に2000年度実績の2倍にすることを目標とするチャレンジングな目標を策定しました。

8ページ



## コミュニケーションの充実 読者意見交換会の開催

社会・環境レポートを一方通行の情報とせず、今後の企業活動やレポートの内容の改善に結びつけるため、社外の方のご意見を伺う機会を設けました。

10ページ



## サステナビリティ会計の構築 単独、連結環境会計 社会会計を集計

サステナビリティ会計として環境会計に加え、社会会計として従業員、お客様、地域の皆様への対応、社会貢献にかかったコストを集計しました。

単独環境会計の内訳:

環境関連経費 359億円 (前年度311億円)  
設備投資 114億円 (前年度108億円)  
社内経済効果 313億円 (前年度287億円)

14~17ページ



## ISO14001 認証取得拡大 国内外94サイトで認証 取得 (対前年度24サイト増)

富士フィルムの営業部門や国内外のグループ会社のISO14001認証取得を積極的に進めています。

21ページ



## 化学物質管理のレベルアップ 環境安全管理 システムを強化

化学物質環境安全管理基本規則を改訂し、原材料の購入・研究・開発・製造・物流・製品使用・廃棄までの総合的管理をグループ全体に適用しました。

23ページ



## 環境配慮設計 環境配慮設計基本規則 の制定

製品・サービスの「環境品質」を向上させるための環境配慮設計の進め方と評価内容を規定した、環境配慮設計基本規則を制定しました。またその成果を、デジタルカメラで日本初となるエコライフ環境ラベルの取得などに結び付けました。

26ページ



## グリーン調達 の推進 94%達成

調達先選別の指標としての調達先グリーン度調査を実施し、目標の90%を上回る94%を達成しました。この他にもグリーン調達品の調査を推進しています。

34ページ



## グリーン購入 の推進 99%達成

ISO14001の目的・目標に組み入れ積極的に取り組んだ結果、目標の90%を上回る99%を達成しました。

34ページ



自己評価: 😊 大変良くできました 😊 良くできました 😊 普通 😊 2003年度は頑張ります 😊 2003年度はもっと頑張ります

## エネルギー使用量 対前年度4.8%増

増産や新製品の試作に伴ない前年度より増加してしまいました。

2003年度は、小田原工場にコジェネレーション設備を導入するなどしてエネルギー使用量の削減を図ります。

35ページ



## CO<sub>2</sub>排出量削減 対前年度3.8%増

増産や新製品の試作に伴ない前年度より増加してしまいました。

大規模な設備投資を行い稼働を開始した富士宮工場、小田原工場の燃料転換(重油 天然ガス)により、2003年度の改善を図ります。

35ページ



## VOC 大気排出量の削減 58%削減 (対1996年度)

揮発性有機化合物(VOC: Volatile Organic Compounds)の大気排出量を1996年度の実績に対し、2002年度に50%削減するという目標を掲げ積極的に削減活動を実施した結果、目標を大幅に上回る削減実績を達成しました。

36ページ



## ゼロエミッション 本社および全ての支社・営業 所でゼロエミッション達成

2001年度までに全ての事業所でゼロエミッションを達成したのに続き、本社および全ての支社・営業所でもゼロエミッションを達成しました。

40ページ



## 廃棄物削減 対前年度5.5%増

増産や新製品の試作に伴ない、前年度より増加してしまいました。

2003年度は、事業所間の緊密な情報交換に基づいてよりインパクトの大きな施策を立案、実施します。

40ページ



## 社外からの評価 社会的責任投資(SRI) への組み入れ 第6回 環境経営度調査: 10位/703社中 (製造業編)

環境のみならず、社会性・経済性の観点からも、当社の取り組みが評価されました。いくつかのSRIファンドにも組み入れられています。

51ページ



## 情報開示の推進 環境goo TVで環境への取 り組みを紹介

環境情報のポータルサイトである環境goo TVにおいて、公益信託富士フィルム・グリーンファンドや地球温暖化防止への取り組みを紹介しています。

35、52ページ



### コジェネレーション

一つのエネルギーから複数のエネルギー(電気・熱など)を取り出すシステムを指します。発電時に発生した排熱を利用して温水や蒸気などを作り、エネルギーを有効活用するシステムなどが一般的です。

### SRI (Socially Responsible Investment : 社会的責任投資)

社会的責任投資とは、従来の財務分析による投資基準だけでなく、環境面や法令遵守、雇用問題、人権問題、消費者対応、社会や地域への貢献などの社会・倫理面から、企業を評価・選別し、安定的な収益を目指す投資手法を指します。